

回 覧

酒社協第238号

令和8年9月25日

町 民 各 位

千葉県共同募金会酒々井町支会

支会長 金 塚 学

(公 印 省 略)

酒々井町社会福祉協議会

会 長 斉 藤 廣

(公 印 省 略)

令和8年度赤い羽根共同募金運動について (お願い)

皆さまには、毎年、共同募金運動に多大なるご協力をいただき、ありがとうございます。

例年、10月1日から翌年3月31日までの6か月間にわたり、全国一斉に「赤い羽根」の募金運動が実施されます。

ご多忙のところ、また、いろいろと出費の多い中、誠に恐縮ですが募金運動にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、ご協力いただける場合は社会福祉協議会までお願いいたします。

(1世帯500円を目安にお願いいたします。)

〈趣 旨〉

高齢・人口減少社会を迎え、社会的なあるいは地域固有の多様な課題が益々顕在化する中、地域（コミュニティ）の再生が強く求められています。

そこで、住民相互のたすけあいを基調に地域福祉の推進のため、だれもが住みなれた地域で安心して暮らすことができ、かつ、住民自らが参加する福祉コミュニティづくりへの参加を促し、実現するための多様な活動を財源面から支援しようとするのが、この運動の目的です。

(詳細については裏面及び添付のパンフレットをご覧ください)

問い合わせ先

社会福祉法人 酒々井町社会福祉協議会

(千葉県共同募金会酒々井町支会事務局)

酒々井町中央台4-11 酒々井町役場西庁舎1階

電 話 496-6635



令和8年度

町内会長・自治会長ならびに町内会・自治会のみなさまへ

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします

「困ったときはお互いさま」の精神からはじまった赤い羽根共同募金は、今年で80年目を迎える、皆さまの住んでいる町のために使われる募金です。

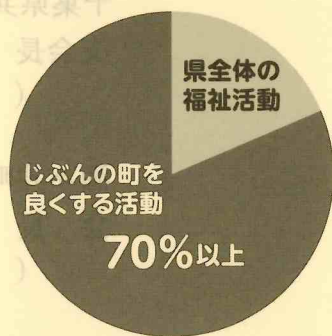
子ども食堂や地域の繋がりづくりのイベント、高齢者・障がい者の社会参加やDV・虐待の被害者保護・防止など、皆さまの身近なところで地域を支えてくれている人たちがいます。

赤い羽根共同募金は、そうした「支える人」を支える募金として、80年の長きに渡り「つながりをたやまない社会づくり」を目指して活動を続けています。

あなたの身近な人、同じ町の人たちを支える募金運動に、ご協力をお願いいたします。

募金の70%以上は自分の町で活用

赤い羽根募金の70%・市町村歳末たすけあい募金の100%が市町村で活用されます



いつも赤い羽根共同募金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。
今年も地域の皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

共同募金のフィールドは地域です。

共同募金会は、皆様の身近にある福祉の課題を解決するために、千葉県内の全市町村に共同募金の窓口を置き、募金活動と助成を行っています。

令和7年度に千葉県で使われた募金額は約5億8千万円で、そのうち約4億1千万円は寄付をいただいた市町村の活動のために使われ、約1億7千万円は県域の福祉活動に使われています。

【地域のふれあい交流会】



災害時にも「地域」の活動を支えます。

大規模災害に備えて、募金の一部を準備金として積み立てています。(積立限度は募金額の3%で3年間)

令和5年台風13号の接近に伴う大雨被害でも、千葉県内の被災地域で災害ボランティアセンターの設置や、復旧・復興活動を行うボランティア団体の支援のために募金が活用されました。

また、災害用備品の整備や防災訓練にも使われ、減災・防災の取り組みでも活躍しています。

【災害ボランティアセンター立上げ訓練】



「つながりをたやさない社会づくり」を推進します。

私たちの暮らしにも、物価高騰や人口減少、地域のコミュニティーの細分化などにより、たくさんの「困りごと」が見られます。

地域のための民間財源である共同募金は、こうした「困りごと」を解決し、皆さんの手で「じぶんの町を良くするしくみ。」として、子育て世代や高齢者・障がいを持つ方など様々な人たちがつながり合い・支え合う地域づくりのための支援を数多く行っています。

【子育てサロン】



赤い羽根共同募金



社会福祉法人 千葉県共同募金会 TEL : 043-245-1721

詳しい使いみちはこちら

赤い羽根



共同募金

令和8年10月1日～令和9年3月31日



八十周年

ありがとう。これからも一緒に。



共同募金運動は皆さまに支えられ、80回目を迎えました。

これまで、様々な困りごとを抱えた人を支えるため、たくさんの福祉活動へ支援を行ってきました。

皆さまの地域を思うやさしさが、今日も様々な場所で支えあいを未来へとつないでいます。



令和7年度

みなさまから寄せられた募金総額

5億2,355万3,706円

赤い羽根募金

3億3,086万2,849円

市町村歳末
たすけあい募金

1億6,791万5,177円

NHK歳末
たすけあい募金

2,477万5,680円

赤い羽根募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」 『みんな』が主役の地域を良くするための運動です。

「赤い羽根共同募金」は、1947年（昭和22年）に始まって以来、地域の福祉活動に役立ってきた社会福祉法に基づく民間の募金運動です。

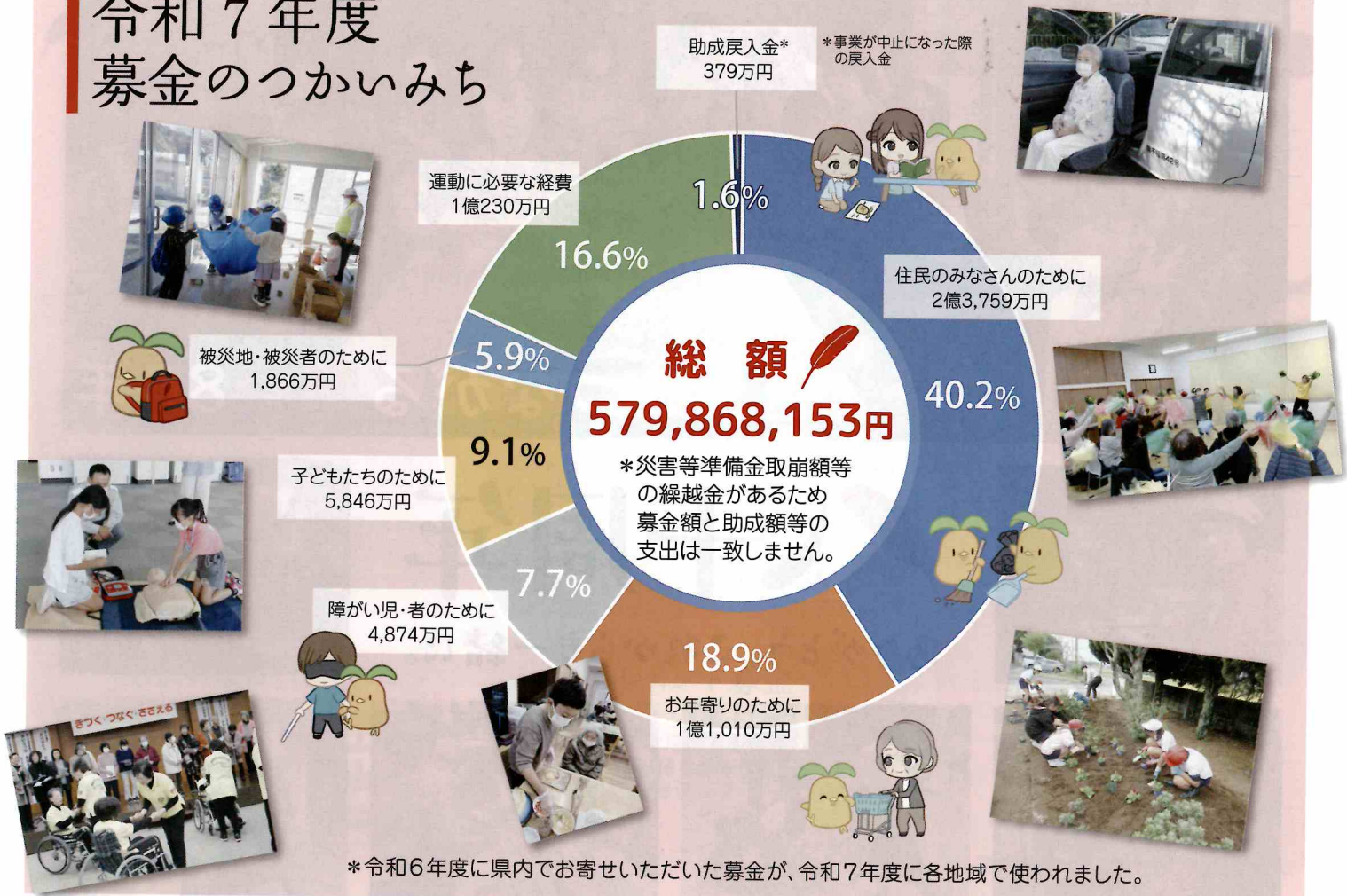
「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、全国で年間約4万6千件にのぼる各地の住民ボランティアや地域福祉活動（高齢者、障がい者、子ども、災害時支援など）を応援しています。

お寄せいただいた募金は、千葉県内で地域のために活躍する団体の活動費や支援のために全額が使われます。

ありがとう



令和7年度 募金のつかいみち



千葉県では皆さまからお寄せいただいたご寄付で、年間およそ2,400件の助成を行っています。共同募金運動に温かいご理解・ご協力をいただきました寄付者・ボランティアのみなさまに心より感謝申し上げます。



社会福祉法人
千葉県共同募金会
会長 熊谷 俊行

令和7年度の共同募金運動は、物価高騰や少子高齢化の進行・地域のコミュニティの細分化などにより、さまざまな福祉課題が深刻化している中での運動となりました。

そのような状況にもかかわらず、多くの皆様から温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様からお寄せいただいた募金は、地域のボランティアや福祉団体・施設への助成をはじめ、子どもの居場所づくりや高齢者の見守り活動、防災・減災への取組など、さまざまな地域福祉活動に活用させていただきます。

地域の福祉ニーズは多様化・複雑化しており、共同募金の果たす役割はますます重要になっています。

これからも皆様の善意を必要とする方々へお届けできるよう努めてまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご協力ありがとうございました

地域のこんな活動を支援しています

お寄せいただいたご浄財は、地域を支える“皆さんの活動”を支えています。

生 生活に困難を抱える
人たちを支えます



フードパントリー(我孫子市)

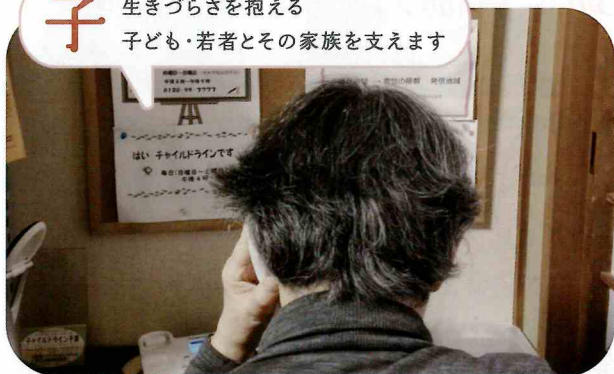
誰 誰をも受け入れ、誰もが参加できる
地域づくりを支えます



盲ろう者(目と耳に不自由を抱える人)のコミュニケーション訓練(千葉市)

支える人も 支える募金

子 生きづらさを抱える
子ども・若者とその家族を支えます



“チャイルドライン”の活動(千葉市)

健 健康でいきいきと暮らし続けられる
地域づくりを支えます



いきいきサロン(市原市)

災 災害ボランティア活動・防災・減災活動を支えます

災害等準備金

大規模な災害が起こった際の備えとして、各都道府県の共同募金会では、毎年「赤い羽根募金額」の3%を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、災害ボランティア活動支援など、被災地のために使われています。(3年経過後、取崩して共同募金助成に役立てられます。)

令和7年度積立額 15,707,000円
積立金総額 49,043,000円



災害ボランティアセンター立上げ訓練(船橋市)



支援活動(新潟県 上越市社会福祉協議会)

令和7年度 災害義援金

令和7年度は各地で地震や火災、豪雨などによる災害が発生し、甚大な被害を及ぼしました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

千葉県共同募金会では、各災害において義援金の募集を行い、その結果下記のとおり義援金をお寄せいただきました。皆さまの温かいご協力に心より感謝申し上げます。

災害義援金名	義援金額(円)
令和6年能登半島地震災害義援金※	754,239
令和6年能登豪雨災害義援金(石川県共同募金会)	23,397
大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金(岩手県共同募金会)	643,941
トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金(鹿児島県共同募金会)	596
令和7年8月豪雨義援金(熊本県共同募金会)	74,149
令和7年8月大雨災害義援金(中央共同募金会)	31,453
令和7年台風第12号災害義援金(鹿児島県共同募金会)	10,000
令和7年大分市佐賀関大規模火災義援金(大分県共同募金会)	125,489
令和7年台風第8号に伴う災害義援金(沖縄県共同募金会)	592
合計	1,663,856

※石川県、中央共同募金会の合計

災害見舞金

〇火災・風水害

248件 1,961,000円

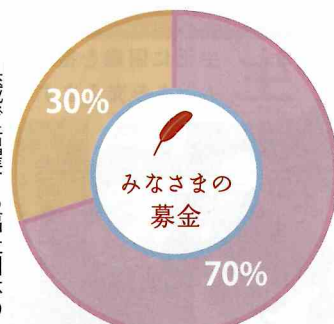
共同募金運動にご理解・ご協力をお願いいたします

募金は皆さまの身近な地域の活動に使われます

千葉県内でお預かりした募金のうち70%が皆様の身近な地域(市・区・町・村内)で福祉課題の解決のため活用されています。残りの30%は県内の社会福祉施設の整備や福祉団体等の活動支援として活用されるほか、災害支援にも役立てられています。(運動経費を除く)

戦後の復興支援から始まり、近年の生活困窮や地域での孤立など、社会の変化のなかで生まれる地域の“困りごと”の変化に合わせて、支援の対象を変えながら、皆さんの身近な場所で活躍している募金です。

県域で活躍する福祉団体の
支援・災害支援に



寄付をした市町村を
良くする活動に



十分な支援を届けるための「募金目標額」

共同募金は、寄付金が集まってから使いみちを決めるのではなく、地域の福祉課題に取り組む団体からの困っている声(福祉ニーズ)を受け付け、使いみちを決めてから募金を行う「計画募金」です。

その為、必要なところに助成支援が行き渡るよう、募金目標額(『これだけ集まれば全ての団体に助成ができる』というゴール)を定めて、皆さまにご寄付のご協力をお願いしています。

今年度の募金目標額

合計	580,000,000円
赤い羽根募金	370,000,000円
市町村歳末たすけあい募金	182,250,000円
NHK歳末たすけあい募金	27,750,000円

色々な方法で地域のための募金活動にご協力いただけます

グッズ募金

千葉県共同募金会マスコットキャラクター「びわびよ」のグッズや、様々なキャラクターとのコラボグッズを通じてご寄付をお願いしております。



ネット募金

ネットからのご寄付を受け付けております。クレジットカードやコンビニ支払、キャリア決済など様々な決済方法をご用意しています。



ポスターの掲示(広報協力)



あかいはね自販機

売り上げの一部が地域福祉のために寄付される「あかいはね自販機」の設置にご協力いただけるオーナー様を募集しています。



イベント募金

県内を本拠地とするスポーツチームの試合会場など、県内で行われる様々なイベント会場で募金活動を行っています。



誰かの困りごとを、自分ごとに。赤い羽根共同募金は、あなたの気持ちを社会の支えに変える仕組みです。皆さまの温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

募金活動Q & A

Q1. 募金は自主的な行為なのに、割り当てがあるのはなぜですか？

共同募金はみなさまに強制的に金額を割り当てる募金ではありません。ただし、地域福祉のニーズに応えるため設けた目標額に対してどの程度募金が必要か、その判断材料として目安額(各市町村の必要額に応じて異なる)を示すことはありますが、あくまで目安ですので、どうかみなさまの任意のご協力をよろしくお願いします。

Q2. 共同募金への寄付金には税の特典があるそうですが？

個人の寄付金は2千円を超える部分が所得控除または税額控除、個人住民税の所得税控除の対象になります。会社などの法人の寄付金は、全額損金算入または寄付金の特別損金算入(社会福祉法人・特定公益増進法人へ寄付金を支出した部分)ができます。なお、遺贈による寄付金には相続税がかかります。※グッズ募金をご希望の場合は、税控除の対象となる領収書の発行は行っておりません。

